

(様式 4)

NICCO平22第92号
平成 23 年 2 月 23 日

在マラウイ共和国日本国大使館
特命全権大使 寒川 富士夫 殿

公益社団法人 日本国際民間協力会
理事長 小野 了代 (公印略)

日本 N G O 連携無償資金協力 事業完了報告書

平成 21 年 11 月 5 日付日本 N G O 連携無償資金協力贈与契約に基づく「マラウイ共和国中部ンコタコタ県における保健・医療・衛生及び栄養改善事業（フェーズ 2）」が、平成 22 年 11 月 4 日をもって完了いたしましたので、関係書類を添え、下記のとおり報告いたします。

記

1. 事業の実施期間： 平成 21 年 11 月 5 日 ～ 平成 22 年 11 月 4 日
2. 事業の実施成果（要約）：

ア. 申請書に記載した期待する成果とその達成度

1) マラリアや住血吸虫の罹患率の低下

- ①マラリア：フェーズ 1 に続き乾季・雨季の二度に亘り長崎大学熱帯医学研究所より日本人医師 2 名を派遣し、事業対象地域の住民 1,200 名以上を対象にマラリア検査を行った。蚊帳配布後の陽性率は蚊帳配布前と比較し、裨益者全体で最大 22%、5 歳未満の子供全体で最大 27%の低下が確認された。本活動に関して長崎大学宮城医師の作成した報告書を資料⑤-1 及び⑤-2 に添付。さらに第 51 回日本熱帯医学会大会にて発表された際の抄録を添付資料⑤-3 に示す。
- ②住血吸虫：住血吸虫の第 1 宿主である巻貝の繁殖時期である 7 月上旬の前後で二度(6 月中旬及び 8 月中旬)に亘り関西医科大学より日本人医師 2 名を派遣し、事業対象地域で無作為抽出した住民約 230 名を対象にビルハルツ住血吸虫症の検査を実施した。その間 6 月下旬に住血吸虫の治療薬であるプラジカンテルを事業地の 1,000 名以上に一斉投与し、治療薬投与前と投与後の陽性率を比較した結果、22%の陽性率低下が確認された。本活動に関して関西医科大学田淵医師の作成した報告書を資料⑤-4 及び⑤-5 に添付。さらに第 51 回日本熱帯医学会大会にて発表された際の抄録を添付資料⑤-6 に示す。

2) 妊産婦教育システムの構築、母子保健サービスの質の向上

- ①妊産婦教育システムの構築：事業対象地域において妊産婦教育の指導者となる保健調査員、伝統的産婆、村落保健委員、及び村長らに対して妊婦・新生児管理講習会を実施した。
- ②母子保健サービスの質の向上：伝統的産婆を講師とした母親学級を 2010 年 6 月

(様式 4)

より毎月 2 回のペースで開催し、5 か月間で累計 268 名の妊婦が参加した。さらにこれらの活動を支援するために 1 グループ 10 名から成る女性の健康グループを 7 グループ組織し、彼らに対しても母子保健に関する講習会を実施した。

3) 妊婦への HIV/AIDS 医療連携システムの構築

月に一度ンコタコタ県病院の医療スタッフを事業地の Mpamantha 保健センターに派遣し、事業地の全妊婦を対象に妊婦健診を実施した。妊婦健診では HIV 検査を実施し、陽性者に対しては治療薬が処方された。また、保健調査員や村長及び上述の女性の健康グループを対象に HIV の予防教育を実施したほか、全住民を対象とした HIV 母子感染予防キャンペーンを実施した。

4) マラリア蔓延防止措置の浸透

フェーズ 1 で配布した全ての蚊帳の使用モニタリングを年に 3 度行い、ほとんどの村で 90%以上の蚊帳使用率を維持していることを確認し、マラリア患者の大幅な減少に貢献した。さらに配布後一年以上が経過した蚊帳に汚れや破損が見られるようになったため、蚊帳配布地域の住民を対象に蚊帳洗浄及び修繕キャンペーンを行い、自分たちで破損した蚊帳を修繕する世帯が見られるようになってきた。

5) 住血吸虫症の予防方法の導入

地域の保健医療教育の指導者となる保健調査員 9 名に対して関西医大より派遣された医師及びンコタコタ県病院の医療スタッフによる住血吸虫予防講習会を行った。講習を受けた保健調査員が講師となり村落内の保健医療指導者である村落保健委員及び村長に対して住血吸虫症に関する講習を行い、予防方法の普及を図った。

6) 安全な飲料水の確保と住民による維持管理

①安全な飲料水の確保：事業対象地域内で高台にある水源からパイプで水を引く「重力配水システム」を利用した水道施設を建設し、3 か村に合計 6 か所の洗い場を含めた蛇口施設を建設した。その他 4 か村には各村に浅井戸を 1 基ずつ（合計 4 基）建設した。

②住民による維持管理：水道/井戸 1 か所ごとに 10 名の村人から成る水道/井戸管理委員会を組織し彼らが自主的に水道/井戸を管理できるようにトレーニングを実施した。

7) 保健、衛生に関する住民の知識の向上

事業対象地域内の全住民、小学校の生徒、村落保健委員及び村長を対象として合計約 1,300 人に衛生改善教育活動として、衛生・清潔保持の必要性や方法、感染症・疾病に関する講習会を実施し、保健、衛生に関する知識を高めることが出来た。

8) 適切な排泄物処理の定着、衛生改善

事業対象地域で合計 144 基、フェーズ 1 と合わせて合計 209 基のエコサントイレを建設し、事業地の衛生状況を改善した。エコサントイレの正しい使用方法を定着させるため、エコサントイレ所有者による管理委員会（23 名）を組織し、彼らに正しいエコサントイレの使用方法を伝えるための講習会を行った。また、エコサントイレの有効性を普及させるため、エコサントイレから出来た肥料を使用したデモンストレーション農場を事業地の 3 か所で運営し、エコサントイレより出来た肥料を使用した場合は無施肥の場合と比較して約 2.2 倍のメイズ収穫高が得られることを実証し、住民のエコサントイレに対する関心を高めた。

9) 自給自足のための農業技術の定着、安定した収穫量の維持、栄養改善

フェーズ 1 で配布できなかった 224 世帯に種子・苗木を配布した。安定した収穫を得るための次期作付用の穀物種子の保存を目的にフェーズ 1 で建設した 3 か所の

(様式 4)

ローカルシードバンクでは187世帯から合計3,180kgの種子を預かり、その内363kgはシードバンク運営用の余剰種子として村人から寄付された。この余剰種子を用いてシードバンクの自立的な運用ができるように、全住民による会議とシードバンクの管理運営を担当する村落農業委員会を対象としたシードバンク運営講習会を実施した。また、これまでに建設した井戸・水道を村人が自主管理するための資金調達の一環として井戸の廃水を利用して野菜や果物を栽培・販売するウォーターポイントガーデン（乾季栽培）の運営を16か所で行った。

イ. プロジェクトの自己評価

本事業ではマラウイ政府の開発計画において常に最重要課題に挙げられる、感染症対策、母子保健、食糧安全保障、及び安全な飲料水の確保に関する事業を組み合わせ実施し、事業地において貧困の悪循環を緩和することに貢献した。マラリア対策事業においてはフェーズ1に続き事業地の裨益者約1,200名以上に対してマラリアの検査・治療を実施した。定期的なモニタリングでは、配布した蚊帳はほとんどの村で常に9割以上の使用率が確認され、一年間で22%ものマラリア陽性率低下につながった。さらに2011年1月にフェーズ3で実施した同様の調査結果では蚊帳配布前と比較して住民全体で約30%、5歳未満の子供全体で約43%ものマラリア陽性率の低下が確認され、本事業の有効性が実証された。同様にビルハルツ住血吸虫症の検査では治療薬一斉投与により約22%の陽性率低下が確認された。母子保健活動では伝統的産婆を中心とした地域の保健医療指導者に対して講習会を行い、伝統的産婆を講師とする月2回の母親学級開催を実現した。エコサントイレ建設ではフェーズ1と合わせて事業地で209基を建設したほか、エコサントイレから採取される肥料の有効性を普及させるためのデモンストレーション農場運営により、無施肥の場合と比較して2.2倍のメイズ収量が得られることを実証した。安全な飲料水の供給では水道6基、井戸4基の建設後、村人によって組織された水道・井戸管理委員会へのトレーニング及びウォーターポイントガーデンの実施を通して裨益者らによる持続的な維持管理システムを構築した。栄養改善活動では安定した食糧の確保を目的にローカルシードバンクシステムを構築し、本事業で配布した種子から収穫された種子の一部を裨益者から寄付された余剰種子を運用してシードバンクを持続的に運営する制度を設立した。

ウ. 今後の方針

本事業は当初2年計画で遂行し、上述の報告の通り複数の事業を組み合わせた「包括的村落開発」モデルを確立し、事業地における貧困の悪循環を緩和するに至った。これらの取り組みを継続し「住民が自立して人間らしい生活を営む」という上位目標を達成するためには、今までに実施した活動の定着と住民自身による運営・管理能力の強化が課題であること、さらに今までの活動を行う中で産科施設の重要性が認知され、産科施設の建設に対する事業地の住民のニーズや、マラウイ政府からの同施設の建設の熱望により、事業期間を1年延長し、3年間の事業とすることとなった。フェーズ3ではマラリア・住血吸虫症対策に関してフェーズ2に引き続いて日本人医師派遣による検査・治療活動を実施するほか、蚊帳配布や安全な飲料水の確保に関して、現事業地に近接する地域においても、現事業地での取り組みを見聞し、貧困の悪循環を緩和する活動の実施を期待する声が高まり、そのニーズに応えるため事業対象地域の拡大を行う。さらに事業地域内の保健センターが分娩施設を備えていないことが地域の保健医療における最大の問題となっていることから保健センターに産科棟を新たに建設し、ンコタコタ県病院と協力して医療スタッフの増員を図る。その他の活動に関してはフェーズ2までに実施した活動の持続的な定着を目的とした講習会とモニタリング活動を継続して実施する。

(様式 4)

3. 日本 N G O 連携無償資金精算額： 3 7 5, 4 6 5. 9 8 米ドル
(契約額 (供与限度額) より 1 0 9, 9 7 0. 0 2 米ドルの減)
4. 会計報告 (事業資金収支表、資金使用明細書、支払証拠書オリジナル) :
別紙のとおり
5. 外部監査報告書提出予定日 : 本報告書に添付

事業の成果（詳細報告書）

「マラウイ共和国中部ンコタコタ県における保健・医療・衛生及び栄養改善事業（フェーズ2）」

本報告書においては、2009年11月5日から2010年11月4日までの期間に実施した活動についての詳細報告を行う。本事業の事業対象地域はンコタコタ県マレンガチャンジ地区及びムワザマ地区（4センター、24ヵ村、1,249世帯、5,831人）であるが、事業の主な対象地となるマレンガチャンジ地区においては、便宜上事業地を下記の表1に示す通りセクションによって分割し、この分類に基づいて事業を実施している（7セクション、18ヵ村、722世帯、3,381人）。これらの事業対象地域に加え、第1フェーズで蚊帳の追加配布を実施した表2に示すような事業対象周辺地域において、配布した蚊帳のモニタリングを実施する（7セクション、34ヵ村、1,034世帯、4,982人）。また、エコサントイレ建設は当初Section1からSection7までの範囲で実施する予定であったが、事業実施中にニーズ拡大に応える形で建設範囲をSection14まで拡大した。

表1. マレンガチャンジ地区事業対象地域の世帯・人口分布

セクション	村名	世帯数	人口
Section1	Chatanga	29	139
	Kalimanjira 3	46	194
	Matumba	24	102
Section2	Chaluso	27	123
	Chizuula	83	352
Section3	Kalusa 2	39	165
	Tondwa	24	109
Section4	Kalusa 1	61	324
	Malithano	27	120
Section5	Chipale	37	181
	Kalusa 3	45	244
	Kamdyambe	22	110
Section6	Chinkhande	15	75
	Mapulanga	83	414
	Mthandula	16	71
Section7	Elia	31	130
	Njumbula 1	78	378
	Njumbula 2	35	150
合計（A）		722	3,381

表 2. マレンガチャンジ地区追加の蚊帳配布対象地域の世帯・人口分布

セクション	村名	世帯数	人口
Section8	Chogona	17	69
	Phwetekele	37	144
	Chiponde	17	79
	Njewa	7	40
Section9	Tawala	14	82
	Mishaji	22	122
	Nthondo 2	21	107
	Kasiya 1	46	240
	Chimunkhu	9	50
	Zamangwe 1	25	133
	Zamangwe 2	24	134
Section10	Kasiya 2	44	235
	Chilezi	35	202
	Nthondo 1	36	171
	Chopela 1	47	202
Section11	Betha	18	110
	Chopera 2	67	296
	Chopera 3	41	177
	Kholoti	61	311
Section12	Kalebe	15	71
	Chulu	12	75
	Nkhongo 1	54	269
	Nkhongo 2	35	161
	Nkhongo 3	27	155
	Kuchelachera	35	182
Section13	Kachitosi 1	25	103
	Kachitosi 2	16	65
	Kaulufu	13	58
Section14	Kapinda	10	51
	Kazimu	40	178
	Nkhwechezi	11	42
	Kaulungu1	87	355
	Kaulungu 2	16	73
	Jasi	50	240
合計 (B)		1,034	4,982
(A)+(B)		1,756	8,363

以下に本事業において実施した活動のリストを示す。その後 5 ページ以降においてそれぞれの活動の詳細について報告する。なお、リスト中、番号の右側に付けた※印は中間報告書にて既に報告済みであることを示す。

- ① マラリア対策：裨益者 8,300 名以上(事業地の Section1～Section5 では蚊帳配布前と比較して裨益者全体で 14%～22%、5 歳未満児で 25%～27%のマラリア陽性率の低下が確認された)
- 1 ※. 2009 年 11 月：第 2 回乾季におけるマラリア調査 (12 ヲ村、1,232 名)
 - 2 ※. 2009 年 12 月：蚊帳配布地域一斉モニタリング(マレンガチャンジ地区) (52 ヲ村、1,756 世帯)
 - 3 ※. 2010 年 1 月：コミュニティ自警委員会を対象にした蚊帳管理講習会 (参加者数：104 名)
 - 4 ※. 2010 年 1 月～2 月：第 2 回雨季におけるマラリア調査 (12 ヲ村、1,218 名)
 - 5. 2010 年 7 月：蚊帳配布地域一斉モニタリング(マレンガチャンジ地区) (52 ヲ村、1,756 世帯)
 - 6. 2010 年 9 月～10 月：蚊帳洗浄及び修繕促進キャンペーン (参加者数 1,536 名)
 - 7. 2010 年 10 月：蚊帳配布後一斉モニタリング(ムワザマ地区) (219 世帯)
 - 8. 2010 年 10 月：蚊帳配布地域一斉モニタリング(マレンガチャンジ地区) (52 ヲ村、1,756 世帯)
- ② 住血吸虫症対策：裨益者 1,027 名以上(事業地では Section1～Section5 の住民 1,027 名に対して治療薬の投与を行い、その結果約 22%のビルハルツ住血吸虫症陽性率の低下が確認された)
- 9. 2010 年 4 月：ビルハルツ住血吸虫症予防講習会 (参加者数 10 名)
 - 1 0. 2010 年 4 月：ビルハルツ住血吸虫症調査のための情報収集 (18 ヲ村、722 世帯)
 - 1 1. 2010 年 6 月：村落保健委員を対象としたビルハルツ住血吸虫症予防講習会 (参加者数 47 名)
 - 1 2. 2010 年 6 月：第 1 回ビルハルツ住血吸虫症調査 (治療薬一斉投与前) (参加者数 237 名)
 - 1 3. 2010 年 6 月：治療薬 (プラジカンテル) 一斉投与 (参加者数 1,027 名)
 - 1 4. 2010 年 8 月：第 2 回ビルハルツ住血吸虫症調査 (治療薬一斉投与後) (参加者数 216 名)
- ③ 母子保健：裨益者 268 名以上(事業地ではトレーニングした伝統的産婆を講師とした母親学級を毎月 2 回開催している)
- 1 5 ※. 2009 年 12 月：母子保健講習会 (導入編) (参加者数：14 名)
 - 1 6 ※. 2010 年 2 月：妊婦管理講習会 (妊娠初期編) (参加者数：14 名)
 - 1 7 ※. 2010 年 3 月：妊婦管理講習会 (妊娠中期編) (参加者数：14 名)
 - 1 8 ※. 2010 年 3 月：妊婦管理講習会 (妊娠後期編) (参加者数：14 名)
 - 1 9 ※. 2010 年 3 月：新生児管理講習会 (参加者数：14 名)
 - 2 0 ※. 2010 年 3 月：母子保健導入研修 (伝統的産婆の新しい役割) (参加者数：47 名)
 - 2 1 ※. 2010 年 3 月：伝統的産婆を対象にしたリーダー研修 (参加者数：5 名)
 - 2 2. 2010 年 4 月：妊婦の栄養講習会 (参加者数：14 名)
 - 2 3. 2010 年 5 月～6 月：母親学級準備講習会 (参加者数：5 名)
 - 2 4. 2010 年 6 月：村落保健委員を対象とした妊婦管理講習会 (参加者数：48 名)
 - 2 5. 2010 年 6 月～10 月：母親学級リハーサル (参加者数：8 名)
 - 2 6. 2010 年 6 月～10 月：母親学級 (参加者数：268 名)
 - 2 7. 2010 年 7 月：女性の健康グループを対象にした新生児管理講習会 (参加者数：88 名)
 - 2 8. 2010 年 8 月：女性の健康グループシステム制作ミーティング (参加者数：88 名)
 - 2 9. 2010 年 9 月：女性の健康グループを対象にした妊婦の栄養講習会 (参加者数：88 名)
 - 3 0. 2010 年 9 月：妊婦健診受診促進会議 (参加者数：70 名)
- ④ HIV/AIDS の母子感染予防：裨益者 1,159 名以上(事業地では HIV 予防講習会を実施した他、月に一度 HIV 検査を含めた妊婦健診を実施した。)
- 3 1. 2010 年 4 月：HIV 予防講習会 (参加者数：14 名)
 - 3 2. 2010 年 7 月：女性の健康グループを対象にした HIV 及び STI 予防講習会 (参加者数：88 名)
 - 3 3. 2010 年 9 月：女性の健康グループを対象にした HIV/AIDS、PMTCT 予防講習会 (参加者数：88 名)
 - 3 4. 2010 年 10 月：HIV 母子感染予防 (PMTCT) キャンペーン (参加者数：1,159 名)
- ⑤ 栄養改善：裨益者約 2,080 名(事業地では第 1 フェーズと合わせて全ての農家に対して十分な量の種子・苗木を配布した他、余剰種子運用によるローカルシードバンクの自主運営システムを導入した。)
- 3 5 ※. 2009 年 11 月～12 月：ローカルシードバンクからの種子配布 (18 ヲ村、408 世帯)
 - 3 6 ※. 2009 年 11 月～2010 年 1 月：種子及び苗木配布 (18 ヲ村、224 世帯)
 - 3 7 ※. 2009 年 12 月：天然殺虫剤による害虫対策講習会 (その 1) (参加者数：20 名)
 - 3 8 ※. 2010 年 1 月～3 月：学校農場運営 (2 つの小学校の全生徒及び全教員 1,014 名)
 - 3 9 ※. 2010 年 2 月：配布した種子・苗木のモニタリング及び作付けフォローアップ (18 ヲ村、694 世帯)
 - 4 0 ※. 2010 年 2 月～3 月：天然殺虫剤による害虫対策講習会 (その 2) (参加者数：20 名)

- 4 1※. 2010 年 3 月：食糧保存講習会（参加者数：1,248 名）
- 4 2. 2010 年 4 月：シードバンクの見学と情報交換会（参加者数：48 名）
- 4 3. 2010 年 4 月：シードバンクの運営方針と管理方法に関する講習会（参加者数：48 名）
- 4 4. 2010 年 4 月：シードバンクにおける運営方針と種子保存方法に関する説明会（参加者数：57 名）
- 4 5. 2010 年 5 月：シードバンクへの種子保存に向けた収穫方法トレーニング（参加者数：55 名）
- 4 6. 2010 年 5 月：シードバンクにおける種子回収方法講習会および種子回収（参加者数：187 名）
- 4 7. 2010 年 5 月～8 月：シードバンク修繕ワークショップ（参加者数：27 名）
- 4 8. 2010 年 6 月：シードバンクにおける種子保存方法講習会（参加者数：33 名）
- 4 9. 2010 年 6 月：シードバンクにおける余剰種子運用講習会（参加者数：48 名）
- 5 0. 2010 年 8 月：学校栄養教室（参加者数：39 名）
- 5 1. 2010 年 9 月～11 月：乾季栽培（ウォーターポイントガーデン運営）（参加者数：172 名）
- 5 2. 2010 年 10 月：モリンガ植林フォローアップ（参加者数：24 名）
- 5 3. 2010 年 10 月：モリンガビジネス講習会（参加者数：57 名）

⑥ 水道/井戸建設：裨益者約 1,200 名(事業地では水道蛇口 6 基及び井戸 4 基建設完了)

- 5 4※. 2009 年 12 月：水道建設に向けたコミュニティ動員活動（参加者数：561 名）
- 5 5※. 2009 年 12 月：水道建設に関する調査及び詳細設計（参加者数：5 名）
- 5 6※. 2010 年 3 月：水道建設前トレーニング（参加者数：31 名）
- 5 7. 2010 年 6 月：井戸建設前コミュニティ動員活動（参加者数：78 名）
- 5 8. 2010 年 6 月：井戸建設（4 基建設完了）
- 5 9. 2009 年 12 月～2010 年 7 月：水道建設（6 ヲ所の蛇口を含む重力配水システムを建設完了）
- 6 0. 2010 年 7 月：水道管理委員会コミュニティ運営トレーニング 第 1 セッション（参加者数：32 名）
- 6 1. 2010 年 7 月：水道管理委員会コミュニティ運営トレーニング 第 2 セッション（参加者数：32 名）
- 6 2. 2010 年 7 月：井戸管理委員会コミュニティ運営トレーニング（参加者数：44 名）
- 6 3. 2010 年 7 月：水道管理メイン委員会トレーニング（参加者数：11 名）
- 6 4. 2010 年 10 月：井戸及び水道管理委員会ファンドレイジングフォローアップ会議（参加者数：75 名）

⑦ エコサントイレ：裨益者 3,381 名(フェーズ 1 と合わせて 209 基のトイレを建設完了、デモンストレーション農場ではエコサントイレの肥料により 2.2 倍のメイズ収量があることを実証した)

- 6 5※. 2010 年 3 月：エコサントイレ建設作業員スキルアップトレーニング（参加者数：14 名）
- 6 6. 2009 年 12 月～2010 年 5 月：エコサン肥料デモンストレーション農場運営（18 ヲ村、772 世帯）
- 6 7. 2010 年 4 月～2010 年 11 月：エコサントイレ建設（144 基建設完了）
- 6 8. 2010 年 5 月～6 月：エコサントイレ建設作業員スキルアップ再トレーニング（参加者数：5 名）
- 6 9. 2010 年 7 月～9 月：新規エコサントイレ建設作業員トレーニング（参加者数：25 名）
- 7 0. 2010 年 7 月：エコサントイレプロモーションキャンペーン（参加者数：271 名）
- 7 1. 2010 年 10 月：エコサントイレの使用・管理方法に関する講習会（参加者数：48 名）
- 7 2. 2010 年 10 月：エコサントイレモニタリング（参加者数：21 名）

⑧ 公衆衛生啓発教育：裨益者約 1,286 名(事業地では小学校の生徒を含めた約 1,286 名に衛生改善に関する知識の普及を実施した)

- 7 3. 2010 年 5 月：学校における健康教育（参加者数：980 名）
- 7 4. 2010 年 7 月～8 月：村落保健委員を対象にした衛生改善講習会（参加者数：45 名）
- 7 5. 2010 年 7 月～8 月：衛生改善促進活動（参加者数：261 名）



活動 1※-①：乾季マラリア調査の様子



活動 1※-②：乾季マラリア調査(受付)



活動 1※-③：乾季マラリア調査(体温・血圧測定)



活動 1※-④：乾季マラリア調査(マラリア治療薬の処方)



活動 2※-①：蚊帳配布地域一斉モニタリング(裨益者と保健調査員)



活動 2※-②：蚊帳配布地域一斉モニタリング(蚊帳設置の様子)



活動 4※-①：雨季マラリア調査(受付)



活動 4※-②：雨季マラリア調査(体温・血圧測定)



活動 4※-③：雨季マラリア調査(血液検査)



活動 4※-④:雨季マラリア調査(マラリア治療薬の処方)



活動 5-①:蚊帳配布地域一斉モニタリング(活動の様子)



活動 5-②:蚊帳配布地域一斉モニタリング(蚊帳を利用している裨益者)



活動 6ー①: 蚊帳洗浄及び修繕促進キャンペーン(蚊帳洗浄)



活動 6ー②: 蚊帳洗浄及び修繕促進キャンペーン(蚊帳修繕)



活動 7ー①: 蚊帳配布後一斉モニタリング(ムワザマ地区) (活動の様子)



活動 7ー②: 蚊帳配布後一斉モニタリング(ムワザマ地区) (蚊帳を利用している裨益者)



活動 8ー①: 蚊帳配布地域一斉モニタリング(活動の様子)



活動 8ー②: 蚊帳配布地域一斉モニタリング(蚊帳を利用している裨益者)



活動 9-①: ビルハルツ住血吸虫症予防講習会(講習会の様子 1)



活動 9-②: ビルハルツ住血吸虫症予防講習会(講習会の様子 2)



活動 10-①: ビルハルツ住血吸虫症調査のための情報収集(活動の様子)



活動 10-②: ビルハルツ住血吸虫症調査のための情報収集(体重測定)



活動 11-①: 村落保健委員を対象としたビルハルツ住血吸虫症予防講習会(講習会の様子 1)



活動 11-②: 村落保健委員を対象としたビルハルツ住血吸虫症予防講習会(講習会の様子 2)



活動 12-①：第 1 回ビルハルツ住血吸虫症調査(顕微鏡による尿検査)



活動 12-②：第 1 回ビルハルツ住血吸虫症調査(試験紙による尿検査)



活動 13-①：治療薬（プラジカンテル）一斉投与(治療薬の処方)



活動 13-②：治療薬（プラジカンテル）一斉投与(治療薬処方前の体重測定)



活動 14-①：第 2 回ビルハルツ住血吸虫症調査(試験紙による尿検査 1)



活動 14-②：第 2 回ビルハルツ住血吸虫症調査(試験紙による尿検査 2)



活動 15※-①：母子保健講習会（導入編）（講習会の様子 1）



活動 15※-②：母子保健講習会（導入編）（講習会の様子 2）



活動 16※-①：妊婦管理講習会（妊娠初期編）（講習会の様子）



活動 16※-②：妊婦管理講習会（妊娠初期編）（参加者ら）



活動 17※-①：妊婦管理講習会（妊娠中期編）（グループワーク）



活動 17※-②：妊婦管理講習会（妊娠中期編）（講習会の様子）



活動 18※-①：妊婦管理講習会（妊娠後期編）（講習会の様子）



活動 18※-②：妊婦管理講習会（妊娠後期編）（グループワーク）



活動 19※-①：新生児管理講習会(乳児の沐浴)



活動 19※-②：新生児管理講習会(乳児の心拍測定)



活動 20※-①：母子保健導入研修（伝統的産婆の新しい役割）（参加者ら）



活動 20※-②：母子保健導入研修（伝統的産婆の新しい役割）（講習会の様子）



活動 21※-①：伝統的産婆を対象にしたリーダー研修(妊産婦健診の様子)



活動 21※-②：伝統的産婆を対象にしたリーダー研修(伝統的産婆ら)



活動 22-①：妊婦の栄養講習会(講習会の様子 1)



活動 22-②：妊婦の栄養講習会(講習会の様子 2)



活動 23-①：母親学級準備講習会(講習会の様子 1)



活動 23-②：母親学級準備講習会(講習会の様子 2)

日本 NGO 連携無償資金協力事業完了報告書 事業内容説明写真(NICCO)

「マラウイ共和国中部ンコタコタ県における保健・医療・衛生及び栄養改善事業（フェーズ2）」



活動 24－①：村落保健委員を対象とした妊婦管理講習会(講習会の様子 1)



活動 24－②：村落保健委員を対象とした妊婦管理講習会(講習会の様子 2)



活動 25－①：母親学級リハーサル(活動の様子 1)



活動 25－②：母親学級リハーサル(活動の様子 2)



活動 26－①：母親学級(活動の様子)



活動 26－②：母親学級(伝統的産婆によるレクチャー)



活動 27-①：女性の健康グループを対象にした新生児管理講習会(講習会の様子 1)



活動 27-②：女性の健康グループを対象にした新生児管理講習会(講習会の様子 2)



活動 28-①：女性の健康グループシステム制作ミーティング(講習会の様子 1)



活動 28-②：女性の健康グループシステム制作ミーティング(講習会の様子 2)



活動 29-①：女性の健康グループを対象にした妊婦の栄養講習会(講習会の様子 1)



活動 29-②：女性の健康グループを対象にした妊婦の栄養講習会(講習会の様子 2)



活動 30－①：妊婦健診受診促進会議(活動の様子 1)



活動 30－②：妊婦健診受診促進会議(活動の様子 2)



活動 31－①：HIV 予防講習会(講習会の様子 1)



活動 31－②：HIV 予防講習会(講習会の様子 2)



活動 32－①：女性の健康グループを対象にした HIV 及び STI 予防講習会(講習会の様子 1)



活動 32－②：女性の健康グループを対象にした HIV 及び STI 予防講習会(講習会の様子 2)



活動 33－①：女性の健康グループを対象にした HIV/AIDS、PMTCT 予防講習会(講習会の様子 1)



活動 33－②：女性の健康グループを対象にした HIV/AIDS、PMTCT 予防講習会(講習会の様子 2)



活動 34－①：HIV 母子感染予防（PMTCT）キャンペーン(活動の様子 1)



活動 34－②：HIV 母子感染予防（PMTCT）キャンペーン(活動の様子 2)



活動 36※－①：種子及び苗木配布(裨益者らへの説明会)



活動 36※－②：種子及び苗木配布(配布の様子)



活動 37※：天然殺虫剤による害虫対策講習会



活動 38※－①：学校農場運営(参加した児童)



活動 38※－②：学校農場運営(説明会の様子)



活動 38※－③：学校農場運営(畑を耕す児童)



活動 39※－①：種子・苗木のモニタリング及び作付けフォローアップ(NICCO スタッフと裨益者)



活動 39※－②：種子・苗木のモニタリング及び作付けフォローアップ(調査の様子)



活動 40※-①：天然殺虫剤による害虫対策講習会
(その2) (実地講習の様子)



活動 40※-②：天然殺虫剤による害虫対策講習会
(その2) (病虫害の調査)



活動 41※-①：食糧保存講習会(実地講習の様子)



活動 41※-②：食糧保存講習会(太陽光乾燥器の作成)



活動 42-①：シードバンクの見学と情報交換会(情報交換会の様子)



活動 42-②：シードバンクの見学と情報交換会(チンゴンティ地区のシードバンク)



活動 43-①：シードバンクの運営方針と管理方法に関する講習会(講習会の様子 1)

活動 43-②：シードバンクの運営方針と管理方法に関する講習会(講習会の様子 2)



活動 44-①：シードバンクにおける運営方針と種子保存方法に関する説明会(説明会の様子 1)

活動 44-②：シードバンクにおける運営方針と種子保存方法に関する説明会(説明会の様子 2)



活動 45ー①：シードバンクへの種子保存に向けた収穫方法トレーニング(メイズを収穫する裨益者)

活動 45ー②：シードバンクへの種子保存に向けた収穫方法トレーニング(種子収穫)



活動 46ー①：シードバンクにおける種子回収方法講習会および種子回収(重量測定)

活動 46ー②：シードバンクにおける種子回収方法講習会および種子回収(預けられた種子)



活動 47-①：シードバンク修繕ワークショップ(修繕作業 1)



活動 47-②：シードバンク修繕ワークショップ(修繕作業 2)



活動 48-①：シードバンクにおける種子保存方法講習会(講習会の様子)



活動 48-②：シードバンクにおける種子保存方法講習会(ニームの葉の粉末化作業)



活動 49-①：シードバンクにおける余剰種子運用講習会(講習会の様子 1)



活動 49-②：シードバンクにおける余剰種子運用講習会(講習会の様子 2)



活動 50-①：学校栄養教室(活動の様子 1)



活動 50-②：学校栄養教室(活動の様子 2)



活動 51-①：乾季栽培（ウォーターポイントガーデン運営）（講習会の様子）



活動 51-②：乾季栽培（ウォーターポイントガーデン運営）（苗床からの移植）



活動 52-①：モリンガ植林フォローアップ(活動の様子 1)



活動 52-②：モリンガ植林フォローアップ(活動の様子 2)



活動 53-①：モリンガビジネス講習会(講習会の様子 1)



活動 53-②：モリンガビジネス講習会(講習会の様子 2)



活動 54※-①：水道建設に向けたコミュニティ動員活動(活動の様子)



活動 54※-②：水道建設に向けたコミュニティ動員活動(裨益者らが作成した資源地図)



活動 55※-①：水道建設に関する調査及び詳細設計(技術者らによる調査)



活動 55※-②：水道建設に関する調査及び詳細設計(完成した建設設計図)



活動 56※-①：水道建設前トレーニング(講習会の様子)



活動 56※-②：水道建設前トレーニング(グループワーク)



活動 57-①：井戸建設前コミュニティ動員活動(活動の様子)



活動 57-②：井戸建設前コミュニティ動員活動(資源地図の作成)



活動 58-①：井戸建設(井戸の掘削)



活動 58-②：井戸建設(建設された井戸)



活動 59-①：水道建設(パイプ敷設用の溝掘り)



活動 59-②：水道建設(鉄パイプの接続)



活動 59-③：水道建設(水道を利用する裨益者)



活動 59-④：水道建設(完成した水道蛇口)



活動 60-①：水道管理委員会コミュニティ運営トレーニング 第1セッション(講習会の様子1)



活動 60-②：水道管理委員会コミュニティ運営トレーニング 第1セッション(講習会の様子2)



活動 61-①：水道管理委員会コミュニティ運営トレーニング 第2セッション(講習会の様子)



活動 61-②：水道管理委員会コミュニティ運営トレーニング 第2セッション(実地研修の様子)



活動 62-①：井戸管理委員会コミュニティ運営トレーニング(グループワーク)



活動 62-②：井戸管理委員会コミュニティ運営トレーニング(実地研修の様子)



活動 63-①：水道管理メイン委員会トレーニング (講習会の様子)



活動 63-②：水道管理メイン委員会トレーニング (実地研修の様子)



活動 64ー①：井戸及び水道管理委員会ファンドレイジングフォローアップ会議(会議の様子)



活動 64ー②：井戸及び水道管理委員会ファンドレイジングフォローアップ会議(帳簿の確認)



活動 65※ー①：エコサントイレ建設作業員スキルアップトレーニング(実地研修の様子)



活動 65※ー②：エコサントイレ建設作業員スキルアップトレーニング(建設済みトイレの調査)



活動 66ー①：エコサン肥料デモンストレーション農場(尿捲きの様子)



活動 66ー②：エコサン肥料デモンストレーション農場(裨益者らと追肥)



活動 66ー③：エコサン肥料デモンストレーション農場(エコサン肥料を施肥した農場)



活動 66ー④：エコサン肥料デモンストレーション農場(何も施肥していない農場)



活動 67ー①：エコサントイレ建設(建設中のトイレ)



活動 67ー②：エコサントイレ建設(建設完了したトイレ)



活動 68-①：エコサントイレ建設作業員スキルアップ再トレーニング(活動の様子 1)



活動 68-②：エコサントイレ建設作業員スキルアップ再トレーニング(活動の様子 2)



活動 69-①：新規エコサントイレ建設作業員トレーニング(活動の様子 1)



活動 69-②：新規エコサントイレ建設作業員トレーニング(活動の様子 2)



活動 70-①：エコサントイレプロモーションキャンペーン(活動の様子 1)



活動 70-②：エコサントイレプロモーションキャンペーン(活動の様子 2)



活動 71：エコサントイレの使用・管理方法に関する講習会(講習会の様子)



活動 72:エコサントイレモニタリング(活動の様子)



活動 73-①：学校における健康教育(活動の様子 1)



活動 73-②：学校における健康教育(活動の様子 2)



活動 74-①：村落保健委員を対象にした衛生改善講習会(講習会の様子 1)



活動 74-②：村落保健委員を対象にした衛生改善講習会(講習会の様子 2)



活動 75-①：衛生改善促進活動(活動の様子 1)



活動 75-②：衛生改善促進活動(活動の様子 2)

(様式4-a)

日本NGO連携無償事業資金収支表

団体名:公益社団法人 日本国際民間協力会(NICCO)

事業名(実施国):マラウイ共和国

自 平成21年11月5日 至 平成22年11月4日

【収入の部】 総収入	連携無償	自己資金	証憑番号	
	(連携無償)	(自己資金)	(連携無償)	(自己資金)
	485,436.00	53,677.41		
【支出の部】				
1. 現地事業実施経費	294,673.11	50,377.91		
(1) 現地事業費	148,763.06	35,248.50		
(イ) 資機材・施設・役務の調達費	45,296.60	28,533.00		
a) 車両保険	0.00	1,785.34		B-1～B-2
b) 疾患状況のデータ整備に係る検査用資機材	11,053.14	1,382.83	A-1～A-23	B-3～B-7
c) 医薬品	0.00	3,062.09		B-8～B-10
b) 蚊帳モニタリング用紙	190.64	0.00	A-24	
e) 母子保健用資機材	726.09	1,207.64	A-25～A-27	B-11
f) 栄養改善事業用資機材	16,822.35	0.00	A-28～A-178	
g) エコサントイレ建設用資機材	16,504.38	0.00	A-179～A-375	
h) 簡易水道建設用資機材	0.00	21,055.37		B-12～B-176
i) 事務所資機材	0.00	39.73		B-177
(ロ) 会議セミナー等開催費	3,086.42	0.00		
a) 会場借料・設営費	962.62	0.00	A-376～A-445	
b) 講師招聘料(講師日当・謝金、旅費)	1,458.72	0.00	A-446～A-487	
c) 資料作成費(ワークショップ資料作成費、ワークショップ準備費)	665.08	0.00	A-488～A-523	
(ハ) 専門家派遣費	100,380.04	6,715.50		
a) 日本人専門家旅費、宿泊費、日当(医師及び水資源専門家)	53,316.86	3,137.29	A-524～A-602	B-178～B-187
b) 日本人専門家謝金	47,063.18	3,578.21	A-603～A-615	B-188～B-189
(2) 事業管理費	145,910.05	15,129.41		
(イ) 現地スタッフ人件費・雇用費	37,871.59	2,023.08		
a) 現地スタッフ(2名×12ヶ月)	9,781.37	1,156.31	A-616～A-633	B-190～B-205
b) 新規雇い上げスタッフ	28,090.22	866.77	A-634～A-1010	B-206～B-228
(ロ) 現地事務所借料等(12ヶ月)	2,670.14	0.00		
a) 事務所借料、光熱水費	1,060.34	0.00	A-1011～A-1023	
b) 倉庫借料、光熱水費	1,609.80	0.00	A-1024～A-1028	
(ハ) 機材借料・修理費	5,727.03	0.00		
・車両整備費、井戸・エコサントイレ・貯蔵庫修繕費、電気・水道修繕費	5,727.03	0.00	A-1029～A-1045	
(ニ) 通信費	8,161.36	0.00		
a) 郵送費、携帯電話料、電話料、両替手数料	3,758.82	0.00	A-1046～A-1158	
b) インターネット設置費、接続費	4,402.54	0.00		
(ホ) 旅費・移動費(車両借料)	58,175.66	0.00		
・車両借上げ費、車両燃料費、スタッフ出張費	58,175.66	0.00	A-1159～A-1820	
(ヘ) 印刷費	1,651.22	106.71	A-1821～A-1861	B-229～B-232
(ト) 人材派遣費	33,653.05	12,999.62		
a) 駐在員旅費(2名)	15,687.04	12,999.62	A-1862～A-1872	B-233～B-251
b) 駐在員宿泊費(2名)	17,646.01	0.00	A-1873～A-1876	
c) 駐在員トランジット宿泊費(2名)	320.00	0.00	A-1877～A-1880	
2. 本部事業実施経費	72,456.23	3,754.59		
(1) 本部スタッフ人件費	71,702.41	1,802.43		
a) 駐在員人件費(2名)	49,604.76	1,480.08	A-1881～A-1909	B-252～B-261
b) 本部スタッフ(1名)	22,097.65	322.35	A-1910～A-1924	B-262～B-263
(2) 会議費(会場借料、旅費、講師招聘料)	310.46	0.00		
・専門家との打ち合わせ旅費	310.46	0.00	A-1925～A-1926	
(3) 通信費・輸送費(郵送料、送金手数料等)	443.36	0.00	A-1927～A-1945	
(4) 事業資料作成費	0.00	1,784.24		B-264～B-266
(6) 雑費	0.00	187.92		B-267～B-271
3. 外部会計監査費	9,424.74	0.00		
a) マラウイ側(事業サイトの視察)	1,657.75	0.00	A-1946	
b) 日本側(外部監査)	7,766.99	0.00	A-1947	
4. 普通預金利息及び口座維持費、銀行間取引手数料、外貨受入手数料				
利子(収入)	1,104.10		A-1948～A-1960	
口座維持費(支出)	16.00			
利子と口座維持費の差額(※1)	1,088.10			
総支出	375,465.98	54,132.50		
残高	109,970.02	-455.09		

※1: 口座において発生する利子と口座を維持するための費用の差額